

平成 25 年

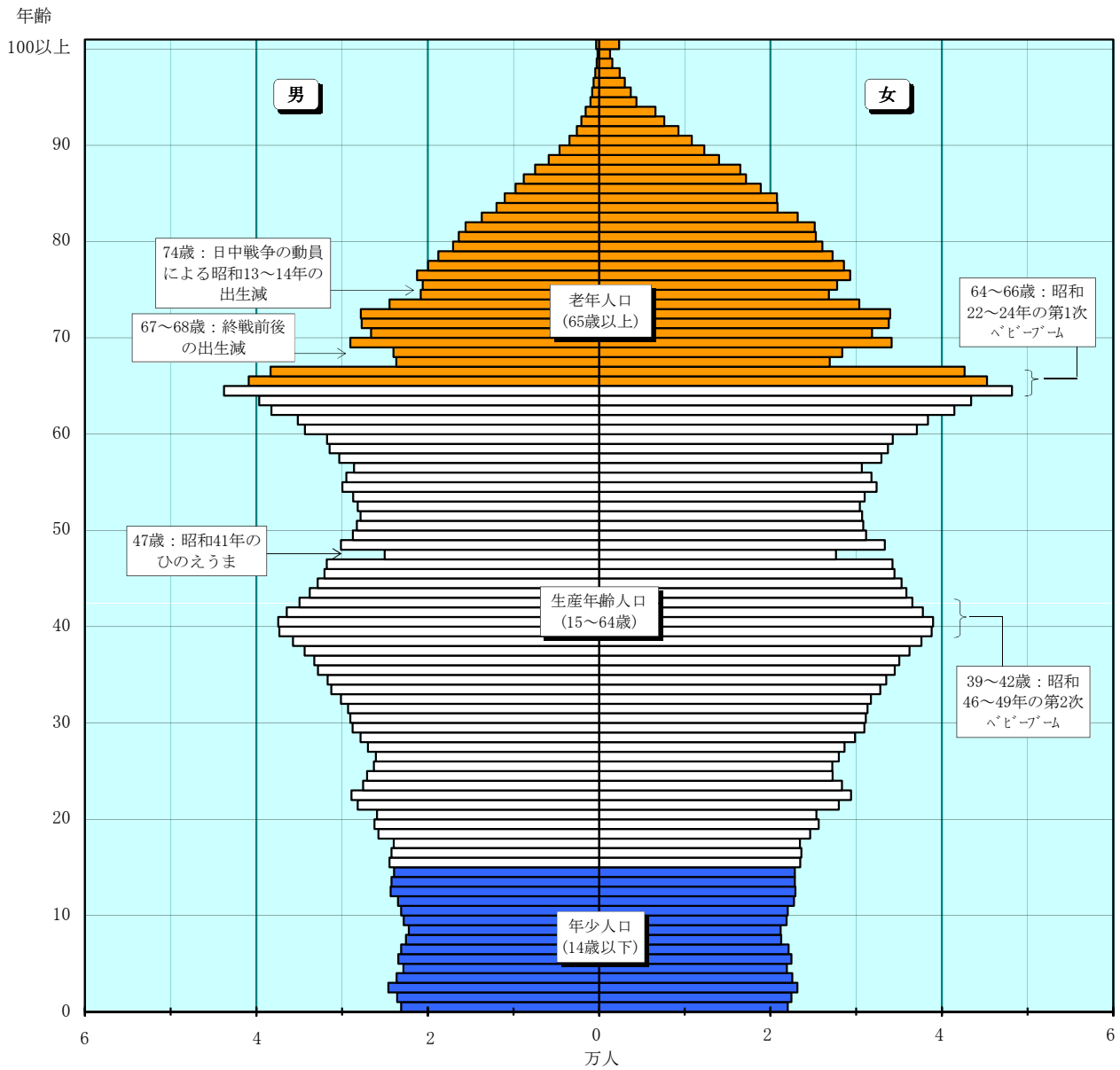
福岡県の人口と世帯年報

—福岡県人口移動調査結果報告(平成 24 年 10 月～25 年 9 月)—

福 岡 県

福岡県の人口ピラミッド

—平成25年10月1日現在—



第1 人口と世帯

1 人口の動向

(1) 総人口

平成25年10月1日現在の総人口は5,090,712人

総人口の50.14%を占める福岡地域

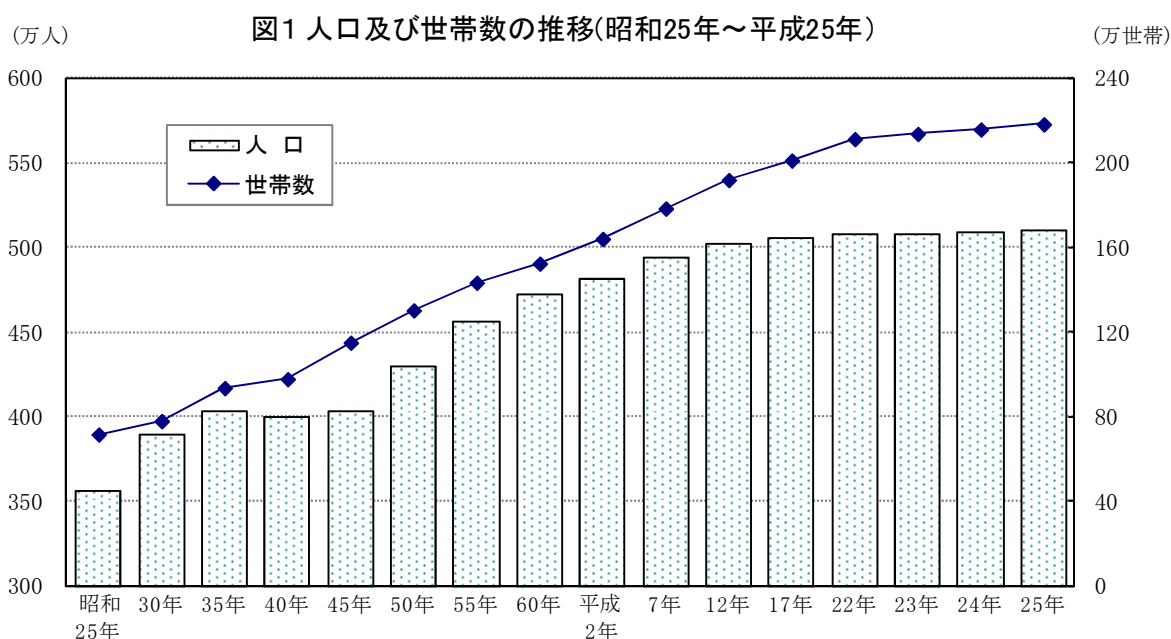
平成25年10月1日現在の福岡県の総人口は5,090,712人で、1年間(平成24年10月1日～25年9月30日)に5,344人(0.11%)増加した。(表1, 図1)

人口を男女別にみると、男性は2,402,726人、女性は2,687,986人で、性比(女性100人に対する男性の数)は89.39となり、前年と比べ0.04ポイント上昇している。

また、地域別にみると、福岡地域が2,552,388人(総人口の50.14%)で最も多く、以下、北九州地域が1,293,397人(同25.41%)、筑後地域が820,601人(同16.12%)、筑豊地域が424,326人(同8.34%)となっている。

表1 総人口、構成比 前年比較

	総人口(人)		構成比(%)		対前年差	
	25年	24年	25年	24年	人口	構成比
福岡県	5,090,712	5,085,368	100.00	100.00	5,344	—
(男)	2,402,726	2,399,698	47.20	47.19	3,028	0.01
(女)	2,687,986	2,685,670	52.80	52.81	2,316	-0.01
市部	4,434,621	4,428,737	87.11	87.09	5,884	0.02
郡部	656,091	656,631	12.89	12.91	-540	-0.02
福岡地域	2,552,388	2,533,552	50.14	49.82	18,836	0.32
筑後地域	820,601	824,670	16.12	16.22	-4,069	-0.10
筑豊地域	424,326	428,131	8.34	8.42	-3,805	-0.08
北九州地域	1,293,397	1,299,015	25.41	25.54	-5,618	-0.13



(2) 市町村別人口

人口は福岡市がトップ

総人口を市町村別にみると、福岡市（1,506,313人）及び北九州市（968,122人）の2市で福岡県全体の5割近くを占めており、以下久留米市（302,461人）、飯塚市（130,157人）、大牟田市（119,548人）の順が続いている。（表2）

表2 人口及び構成比順位(市町村)

順位	市町村	人口 (人)	構成比 (%)
1	福岡市	1,506,313	29.59
2	北九州市	968,122	19.02
3	久留米市	302,461	5.94
4	飯塚市	130,157	2.56
5	大牟田市	119,548	2.35
6	春日市	108,876	2.14
7	筑紫野市	101,163	1.99
8	糸島市	97,735	1.92
9	大野城市	97,579	1.92
10	宗像市	96,393	1.89

(3) 人口密度

人口密度は、春日市がトップ

本県の1km²当たりの人口は、1,022.4人となっており、市町村別にみると、春日市が7,694.4人で最も高く、以下、志免町が5,197.6人、福岡市が4,408.3人となっている。（表3）

表3 人口密度順位(市町村)

順位	市町村	人口密度(人/km ²)
1	春日市	7,694.4
2	志免町	5,197.6
3	福岡市	4,408.3
4	大野城市	3,630.2
5	粕屋町	3,091.3
6	中間市	2,688.5
7	水巻町	2,643.0
8	太宰府市	2,421.4
9	北九州市	1,977.4
10	須恵町	1,646.4

2 年齢別人口

進む人口の高齢化

本県人口の平均年齢は45.2歳で、前年(45.0歳)に比べ0.2歳上昇した。

人口を年齢3区分別にみると、年少人口(0～14歳)が685,079人(県人口の13.6%)、生産年齢人口(15～64歳)が3,150,544人(同62.3%)、老年人口(65歳以上)が1,219,440人(同24.1%)となっている。

1年間に、年少人口は389人、生産年齢人口は37,698人それぞれ減少したが、老年人口は43,705人増加している。(表4)

また、人口構成比でみると、年少人口は0.02ポイント、生産年齢人口は0.82ポイントそれぞれ減少したのに対し、老年人口は0.84ポイント増加した。

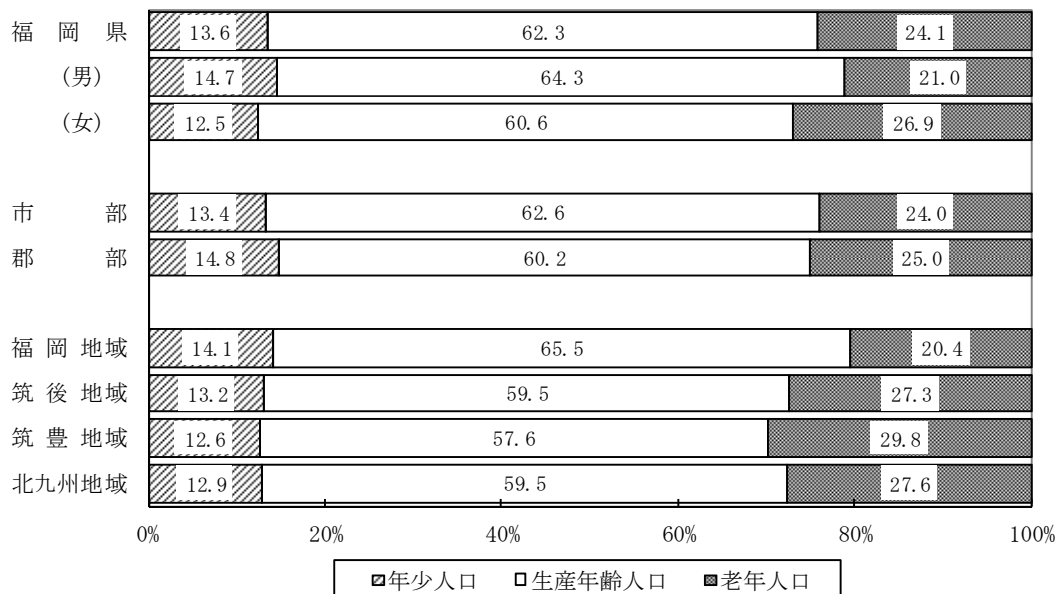
表4 年齢(3区分)別人口(平成7年～平成25年)

年次	平成25年	平成24年	平成22年	平成17年	平成12年	平成7年	
人口(人)	総数	5,090,712	5,085,368	5,071,968	5,049,908	5,015,699	4,933,393
	年少人口(0～14歳)	685,079	685,468	684,124	701,195	742,740	815,170
	生産年齢人口(15～64歳)	3,150,544	3,188,242	3,227,932	3,326,610	3,393,080	3,382,470
	老年人口(65歳以上)	1,219,440	1,175,735	1,123,376	997,798	870,290	728,574
構成比(%)	年少人口	13.6	13.6	13.6	14.0	14.8	16.5
	生産年齢人口	62.3	63.1	64.1	66.2	67.8	68.7
	老年人口	24.1	23.3	22.3	19.9	17.4	14.8
前年差(人)	年少人口	-389	-	-	-	-	-
	生産年齢人口	-37,698	-	-	-	-	-
	老年人口	43,705	-	-	-	-	-

注) 総数には「年齢不詳」を含む。構成比には「年齢不詳」を含まない。
平成7年～平成22年は総務省統計局「国勢調査」による。

地域別にみると、生産年齢人口割合が65.5%と最も高い福岡地域で、老年人口割合が最も低い20.4%となっている。一方、生産年齢人口割合が57.6%と最も低い筑豊地域では、老年人口割合が最も高い29.8%となっており、県内地域間で年齢構造が異なっている。(図2)

図2 年齢(3区分)別人口割合



注) 割合には「年齢不詳」を含まない。

3 世帯の動向

総世帯数は2,180,919世帯

平成25年10月1日現在の総世帯数は2,180,919世帯で、1年間に24,472世帯(1.13%)増加しているが、1世帯当たり人員は2.33人となっており、前年に比べ、0.03人減少している。(表5)

表5 世帯数及び1世帯当たり人員

	世帯数 (世帯)		1世帯当たり 人員(人)	
	25年	24年	25年	24年
福岡県	2,180,919	2,156,447	2.33	2.36
市部	1,932,399	1,910,534	2.29	2.32
郡部	248,520	245,913	2.64	2.67
福岡地域	1,140,176	1,121,767	2.24	2.26
筑後地域	307,548	304,888	2.67	2.70
筑豊地域	173,956	173,491	2.44	2.47
北九州地域	559,239	556,301	2.31	2.34

市町村別に世帯数をみると、福岡市が743,126世帯(総世帯の34.1%)で最も多く、次いで北九州市の428,054世帯(同19.6%)、久留米市の120,534世帯(同5.5%)と上位3市で世帯全体の約6割を占めている。(表6)

1世帯当たり人員をみると、最も多いのは大木町の3.11人で、次いで久山町の3.08人となっており、上位10市町村中7市町が筑後地域となっている。

表6 世帯数及び1世帯当たり人員順位(市町村)

順位	世帯数 (世帯)		1世帯当たり人員 (人)	
	市町村	世帯数	市町村	人員
1	福岡市	743,126	大木町	3.11
2	北九州市	428,054	久山町	3.08
3	久留米市	120,534	大刀洗町	3.06
4	飯塚市	54,851	筑前町	3.02
5	大牟田市	50,056	みやま市	2.99
6	春日市	42,625	うきは市	2.97
7	筑紫野市	39,320	八女市	2.96
8	宗像市	38,567	柳川市	2.93
9	大野城市	38,553	宇美町	2.90
10	糸島市	35,213	広川町	2.90

第2 人口動態

1 人口増加数

1年間に5,344人(0.11%)増加

1年間(平成24年10月1日～25年9月30日)の総人口の増加5,344人(0.11%)の内訳は、自然増加が-3,965人(-0.08%)、社会増加が9,309人(0.18%)となっており、社会増加が自然増加を上回った。

地域別にみると、1年間に人口が増加したのは福岡地域のみであり、他の地域では人口減少が続いている。(表7, 表8, 表9, 図3)

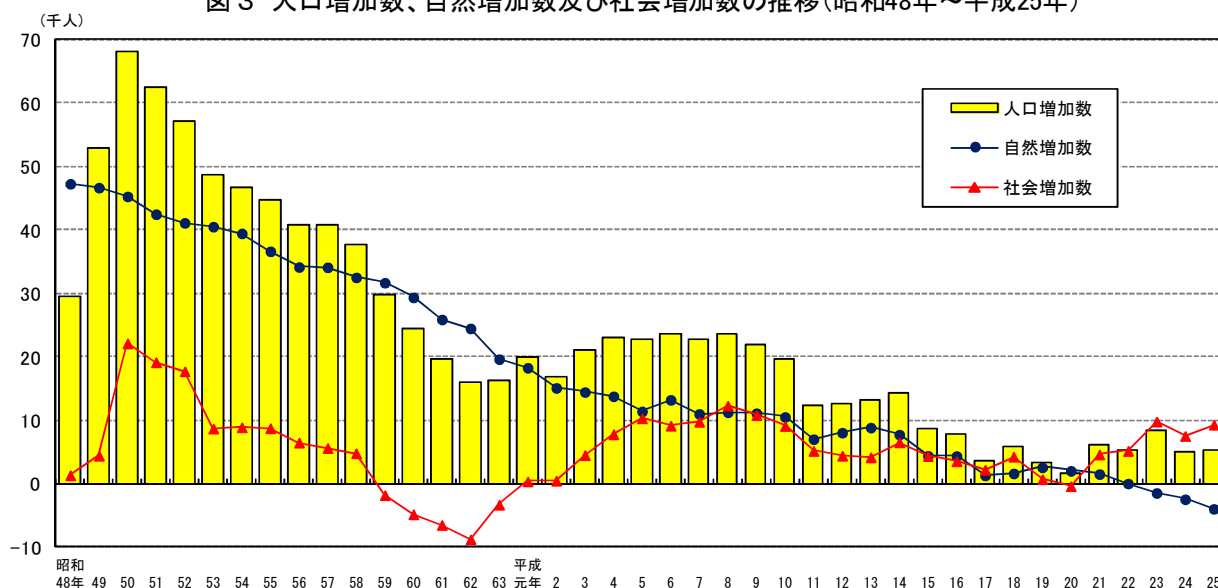
表7 人口増加数、自然増加数及び社会増加数(24年10月1日～25年9月30日)

	人口増加数(人)		自然増加数(人)		社会増加数(人)	
	25年	24年	25年	24年	25年	24年
福岡県	5,344	5,060	-3,965	-2,455	9,309	7,515
(男)	3,028	1,852	-1,704	-785	4,732	2,637
(女)	2,316	3,208	-2,261	-1,670	4,577	4,878
市	5,884	6,099	-3,342	-2,019	9,226	8,118
郡	-540	-1,039	-623	-436	83	-603
福岡地域	18,836	17,744	5,187	5,726	13,649	12,018
筑後地域	-4,069	-4,780	-2,928	-2,701	-1,141	-2,079
筑豊地域	-3,805	-3,861	-2,392	-2,384	-1,413	-1,477
北九州地域	-5,618	-4,043	-3,832	-3,096	-1,786	-947

表8 人口増加率、自然増加率及び社会増加率(24年10月1日～25年9月30日)

	人口増加率(%)		自然増加率(%)		社会増加率(%)	
	25年	24年	25年	24年	25年	24年
福岡県	0.11	0.10	-0.08	-0.05	0.18	0.15
(男)	0.13	0.08	-0.07	-0.03	0.20	0.11
(女)	0.09	0.12	-0.08	-0.06	0.17	0.18
市	0.13	0.14	-0.08	-0.05	0.21	0.18
郡	-0.08	-0.16	-0.09	-0.07	0.01	-0.09
福岡地域	0.74	0.71	0.20	0.23	0.54	0.48
筑後地域	-0.49	-0.58	-0.36	-0.33	-0.14	-0.25
筑豊地域	-0.89	-0.89	-0.56	-0.55	-0.33	-0.34
北九州地域	-0.43	-0.31	-0.29	-0.24	-0.14	-0.07

図3 人口増加数、自然増加数及び社会増加数の推移(昭和48年～平成25年)



増加数は福岡市がトップ、増加率は新宮町がトップ

人口増加数を市町村別にみると、福岡市が14,059人で最も多く、以下、新宮町が1,149人、福津市が893人となっている。また、人口増加率では新宮町が4.32%と最も高く、以下、粕屋町が1.76%、福津市が1.59%となっている。(表9)

表9 人口増加数及び人口増加率順位(市町村)(24年10月1日～25年9月30日)

人口増加数(人)						人口増加率(%)					
順位	25年		順位	24年		順位	25年		順位	24年	
1	福岡市	14,059	1	福岡市	12,821	1	新宮町	4.32	1	新宮町	4.35
2	新宮町	1,149	2	大野城市	1,283	2	粕屋町	1.76	2	大野城市	1.34
3	福津市	893	3	新宮町	1,109	3	福津市	1.59	3	粕屋町	1.17
4	春日市	852	4	春日市	857	4	須恵町	1.12	4	福津市	1.12
5	大野城市	819	5	福津市	623	5	福岡市	0.94	5	須恵町	1.10
6	粕屋町	757	6	粕屋町	496	6	大野城市	0.85	6	志免町	0.95
7	久留米市	463	7	筑紫野市	442	7	春日市	0.79	7	福岡市	0.87
8	太宰府市	376	8	志免町	423	8	太宰府市	0.53	8	春日市	0.80
9	須恵町	298	9	須恵町	288	9	久山町	0.46	9	筑紫野市	0.44
10	宗像市	260	10	古賀市	230	10	志免町	0.33	10	古賀市	0.40

2 自然増加数

1年間に3,965人(0.08%)減少

1年間の自然増加数は-3,965人(出生者46,147人、死亡者50,112人)で、自然増加率は-0.08%であった。前の1年間に比べると、出生者数は316人、死亡者数は1,826人それぞれ増加となった。地域別にみると、福岡地域のみ増加となっており、他の地域は全て減少している。(表10、表11)

表10 自然増加数及び出生・死亡者数(24年10月1日～25年9月30日)

	自然増加数(人)		出生者数(人)		死亡者数(人)	
	25年	24年	25年	24年	25年	24年
福岡県	-3,965	-2,455	46,147	45,831	50,112	48,286
(男)	-1,704	-785	23,624	23,573	25,328	24,358
(女)	-2,261	-1,670	22,523	22,258	24,784	23,928
市部	-3,342	-2,019	39,895	39,459	43,237	41,478
郡部	-623	-436	6,252	6,372	6,875	6,808
福岡地域	5,187	5,726	25,013	24,723	19,826	18,997
筑後地域	-2,928	-2,701	6,813	6,736	9,741	9,437
筑豊地域	-2,392	-2,384	3,442	3,449	5,834	5,833
北九州地域	-3,832	-3,096	10,879	10,923	14,711	14,019

表11 自然増加率及び出生・死亡率(24年10月1日～25年9月30日)

	自然増加率(%)		出生率(‰)		死亡率(‰)	
	25年	24年	25年	24年	25年	24年
福岡県	-0.08	-0.05	9.07	9.02	9.85	9.50
(男)	-0.07	-0.03	9.84	9.83	10.55	10.16
(女)	-0.08	-0.06	8.39	8.30	9.23	8.92
市部	-0.08	-0.05	9.01	8.92	9.76	9.38
郡部	-0.09	-0.07	9.52	9.69	10.47	10.35
福岡地域	0.20	0.23	9.87	9.83	7.83	7.55
筑後地域	-0.36	-0.33	8.26	8.12	11.81	11.38
筑豊地域	-0.56	-0.55	8.04	7.98	13.63	13.50
北九州地域	-0.29	-0.24	8.37	8.38	11.32	10.76

出生・死亡者数の推移をみると、出生者数はこのところ横ばい傾向であるが、死亡者数は増加しており、平成23年に死亡者数が出生者数を上回ってから、その差が大きくなっている。(図4)

また、市町村別にみると、自然増加数は福岡市(3,765人)が最も多く、自然増加率は粕屋町(1.02%)が最も高くなっている。(表12)

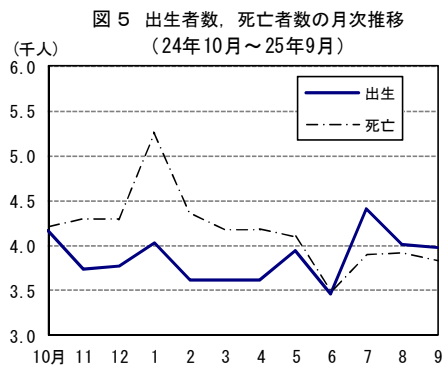
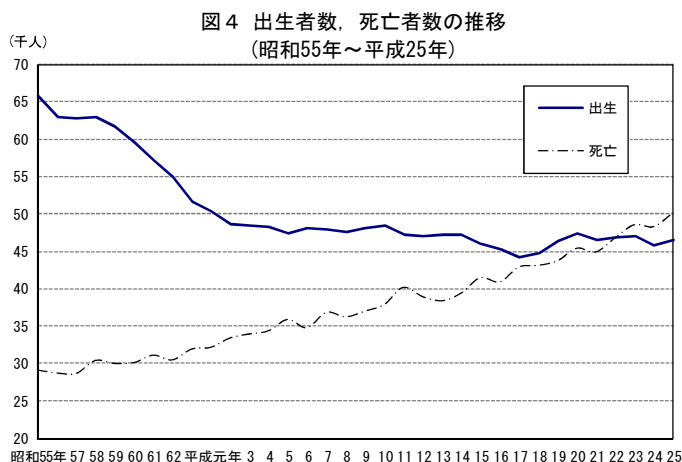


表12 自然増加数及び自然増加率順位(市町村)(24年10月1日～25年9月30日)

自然増加数(人)						自然増加率(%)					
順位	25年		順位	24年		順位	25年		順位	24年	
1	福岡市	3,765	1	福岡市	3,954	1	粕屋町	1.02	1	粕屋町	0.94
2	大野城市	527	2	大野城市	463	2	新宮町	0.65	2	新宮町	0.73
3	粕屋町	439	3	粕屋町	400	3	大野城市	0.54	3	志免町	0.50
4	春日市	310	4	春日市	350	4	那珂川町	0.44	4	大野城市	0.48
5	那珂川町	218	5	那珂川町	240	5	志免町	0.39	5	那珂川町	0.48
6	志免町	176	6	志免町	224	6	春日市	0.29	6	篠栗町	0.34
7	新宮町	173	7	太宰府市	197	7	福岡市	0.25	7	春日市	0.33
8	筑紫野市	171	8	新宮町	187	8	苅田町	0.24	8	太宰府市	0.28
9	太宰府市	96	9	筑紫野市	181	9	須恵町	0.23	9	福岡市	0.27
10	苅田町	87	10	篠栗町	106	10	筑紫野市	0.17	10	須恵町	0.20

3 社会増加数

1年間に9,309人(0.18%)増加

1年間の社会増加数は9,309人(転入者282,365人, 転出者273,056人)で、社会増加率は0.18%であった。前の1年間に比べると、転入者数は6,098人, 転出者数は4,304人それぞれ増加となった。地域別にみると、社会増となったのは自然増と同様に福岡地域のみである。(表13, 表14)

表13 社会増加数及び転入・転出者数(24年10月1日～25年9月30日)

	社会増加数(人)		転入者数(人)		転出者数(人)	
	25年	24年	25年	24年	25年	24年
福岡県	9,309	7,515	282,365	276,267	273,056	268,752
(男)	4,732	2,637	146,563	143,118	141,831	140,481
(女)	4,577	4,878	135,802	133,149	131,225	128,271
市部	9,226	8,118	249,674	244,991	240,448	236,873
郡部	83	-603	32,691	31,276	32,608	31,879
福岡地域	13,649	12,018	177,798	173,070	164,149	161,052
筑後地域	-1,141	-2,079	30,021	28,141	31,162	30,220
筑豊地域	-1,413	-1,477	15,152	15,024	16,565	16,501
北九州地域	-1,786	-947	59,394	60,032	61,180	60,979

表14 社会増加率及び転入・転出率(24年10月1日～25年9月30日)

	社会増加率(%)		転入率(%)		転出率(%)	
	25年	24年	25年	24年	25年	24年
福岡県	0.18	0.15	5.55	5.44	5.37	5.29
(男)	0.20	0.11	6.11	5.97	5.91	5.86
(女)	0.17	0.18	5.06	4.96	4.89	4.78
市	0.21	0.18	5.64	5.54	5.43	5.36
郡	0.01	-0.09	4.98	4.76	4.97	4.85
福岡地域	0.54	0.48	7.02	6.88	6.48	6.40
筑後地域	-0.14	-0.25	3.64	3.39	3.78	3.64
筑豊地域	-0.33	-0.34	3.54	3.48	3.87	3.82
北九州地域	-0.14	-0.07	4.57	4.61	4.71	4.68

転入・転出者数の推移をみると、平成8年以降減少傾向にあったが、ここ数年は横ばいとなっている。(図6)

また、市町村別にみると、社会増加数は福岡市(10,294人)が最も多く、社会増加率は新宮町(3.67%)が最も高くなっている。(表15)

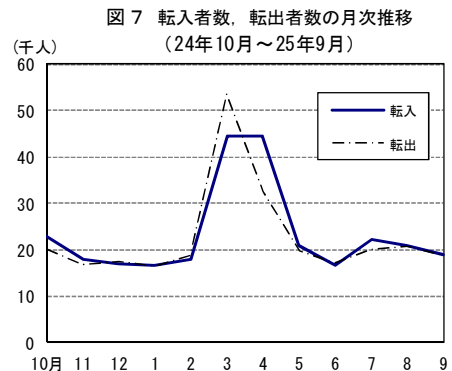
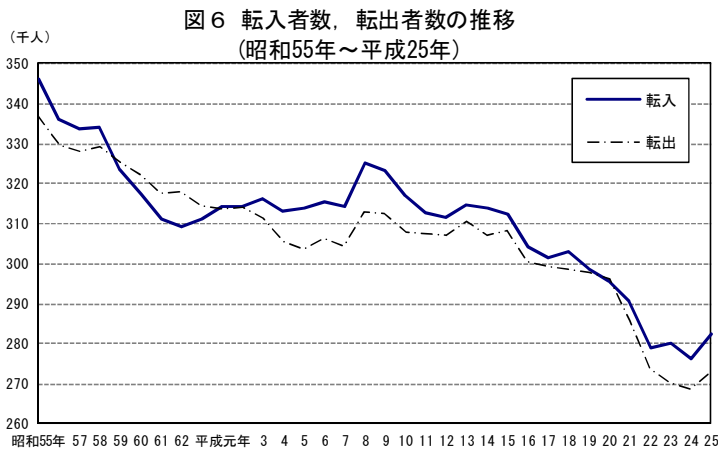


表15 社会増加数及び社会増加率順位(市町村)(24年10月1日～25年9月30日)

社会増加数(人)					社会増加率(%)						
順位	25年		順位	24年		順位	25年		順位	24年	
1	福岡市	10,294	1	福岡市	8,867	1	新宮町	3.67	1	新宮町	3.62
2	福津市	1,004	2	新宮町	922	2	福津市	1.79	2	福津市	1.23
3	新宮町	976	3	大野城市	820	3	須恵町	0.89	3	須恵町	0.89
4	春日市	542	4	福津市	681	4	久山町	0.80	4	大野城市	0.86
5	久留米市	528	5	春日市	507	5	粕屋町	0.74	5	福岡市	0.60
6	宗像市	351	6	筑紫野市	261	6	福岡市	0.69	6	上毛町	0.54
7	粕屋町	318	7	須恵町	235	7	春日市	0.50	7	春日市	0.47
8	大野城市	292	8	志免町	199	8	筑前町	0.44	8	志免町	0.45
9	太宰府市	280	9	古賀市	132	9	岡垣町	0.43	9	大木町	0.39
10	須恵町	237	10	宗像市	107	10	太宰府市	0.39	10	筑前町	0.28

4 移動者の状況

(1) 移動者数の状況

移動者数は 382,882 人

1年間の移動者数をみると、県内移動者（県内各市町村からの転入者）が 159,416 人、県外移動者（県外からの転入者と県外への転出者の合計）が 223,466 人で、これらを合わせた移動者総数は 382,882 人となっている。

（表 16）

移動者数を年齢（5歳階級）別にみると、25～29歳の66,813人（構成比17.5%）が最も多く、以下、20～24歳の66,296人（同17.3%）、30～34歳の51,151人（同13.4%）の順となっている。（表 17）

表16 県内・県外移動者数の推移（平成元年～平成25年）

年次	移動者(人)	移動者(人)		
		県内移動	県外転入	県外転出
平成元年	431,654	187,975	122,807	120,872
2	429,787	187,349	122,023	120,415
3	432,155	186,133	125,427	120,595
4	429,135	181,499	128,356	119,280
5	424,459	184,634	125,833	113,992
6	423,634	189,814	122,310	111,510
7	422,317	187,705	123,166	111,446
8	439,048	189,087	130,480	119,481
9	439,925	186,203	131,321	122,401
10	435,763	179,082	132,289	124,392
11	430,065	179,414	127,340	123,311
12	428,730	178,897	126,696	123,137
13	432,980	181,348	127,573	124,059
14	431,674	178,242	129,510	123,922
15	429,967	180,176	126,537	123,254
16	420,844	173,240	125,160	122,444
17	417,847	172,006	123,672	122,169
18	418,073	172,691	124,058	121,324
19	415,146	170,805	121,761	122,580
20	411,048	170,474	119,677	120,897
21	401,922	165,509	119,162	117,251
22	383,159	161,737	112,472	108,950
23	384,594	159,548	116,958	108,088
24	379,510	156,175	115,427	107,908
25	382,882	159,416	117,138	106,328

注) 平成7年以前の数値は総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」によるため、外国人を含まない。

表17 年齢(5歳階級)別移動者数(24年10月1日～25年9月30日)

年齢階級	移動者				転入者			転出者		
	総数	構成比 (%)	県内移動 (a)	県外移動 (b)+(c)	総数	県内 (a)	県外 (b)	総数	県内	県外 (c)
総数	382,882	100.0	159,416	223,466	282,365	159,416	117,138	273,056	159,832	106,328
0～4	29,424	7.7	13,321	16,103	21,983	13,321	8,321	21,394	13,351	7,782
5～9	14,861	3.9	5,433	9,428	10,542	5,433	4,992	10,000	5,410	4,436
10～14	8,009	2.1	3,046	4,963	5,827	3,046	2,709	5,388	3,052	2,254
15～19	21,532	5.6	6,904	14,628	16,189	6,904	8,860	12,958	6,998	5,768
20～24	66,296	17.3	21,866	44,430	46,277	21,866	23,240	44,686	21,995	21,190
25～29	66,813	17.5	28,985	37,828	48,803	28,985	19,011	49,503	29,032	18,817
30～34	51,151	13.4	23,635	27,516	38,363	23,635	14,111	38,112	23,659	13,405
35～39	36,624	9.6	15,810	20,814	27,052	15,810	10,777	26,338	15,760	10,037
40～44	24,666	6.4	9,637	15,029	17,792	9,637	7,792	17,224	9,644	7,237
45～49	15,439	4.0	6,288	9,151	11,313	6,288	4,721	11,048	6,329	4,430
50～54	11,811	3.1	4,997	6,814	8,813	4,997	3,568	8,458	5,001	3,246
55～59	9,575	2.5	4,464	5,111	7,424	4,464	2,735	7,035	4,488	2,376
60～64	8,638	2.3	4,323	4,315	6,971	4,323	2,408	6,386	4,332	1,907
65～69	4,639	1.2	2,522	2,117	3,823	2,522	1,157	3,595	2,523	960
70～74	3,385	0.9	1,993	1,392	2,830	1,993	750	2,698	1,993	642
75～79	2,990	0.8	1,834	1,156	2,522	1,834	610	2,450	1,852	546
80～84	3,117	0.8	1,917	1,200	2,592	1,917	631	2,538	1,942	569
85～89	2,449	0.6	1,473	976	1,986	1,473	489	1,997	1,489	487
90～94	1,156	0.3	743	413	980	743	213	965	753	200
95～99	255	0.1	188	67	231	188	38	224	191	29
100歳以上	52	0.0	37	15	44	37	5	52	38	10
不詳	0	0.0	0	0	8	0	0	7	0	0

注1) 転入者及び転出者の総数には、新旧住所不明者及び職権記載者、消除者を含む。

注2) 県内転入者と県内転出者は本来一致するものであるが、届出時期の関係等で一致しないため、県内転入者＝県内移動者としている

(2) 県内移動

1年間の県内移動者数は159,416人となっている。年齢(5歳階級)別にみると、25～29歳の28,985人(構成比18.2%)が最も多く、以下、30～34歳の23,635人(同14.8%)、20～24歳の21,866人(同13.7%)と続いている。(表17)

県内移動者を地域別にみると、福岡地域への転入者が98,544人と最も多く、次いで北九州地域の35,854人、筑後地域の14,377人、筑豊地域の10,641人となっている。地域間移動をみると同一域内以外では、筑後地域から福岡地域への移動が41.9%と最も高くなっている。(表18)

表18 県内地域間移動(24年10月1日～25年9月30日)

		移動先住所地別県内移動者数(人)					移動先住所地別割合(%)				
		県計	福岡地域	筑後地域	筑豊地域	北九州地域	県計	福岡地域	筑後地域	筑豊地域	北九州地域
従前住所地	県計	159,416	98,544	14,377	10,641	35,854	100.0	61.8	9.0	6.7	22.5
	福岡地域	94,026	80,182	5,178	2,351	6,315	100.0	85.3	5.5	2.5	6.7
	筑後地域	15,822	6,628	8,033	326	835	100.0	41.9	50.8	2.1	5.3
	筑豊地域	11,958	3,392	286	5,994	2,286	100.0	28.4	2.4	50.1	19.1
	北九州地域	37,610	8,342	880	1,970	26,418	100.0	22.2	2.3	5.2	70.2

注) 表側の地域から、表頭の地域への転入者。

(3) 県外移動

1年間の県外移動者数(国外への転出入を含む)は223,466人となっている。このうち、転入者が117,138人、転出者が106,328人で、10,810人の転入超過となっている。

また県外移動者の地域別構成比をみると、最も高い福岡地域の63.7%に対し、最も低い筑豊地域では3.7%となっている。(表19)

年齢(5歳階級)別にみると、20～24歳の44,430人(構成比19.9%)が最も多く、以下、25～29歳の37,828人(同16.9%)、30～34歳の27,516人(12.3%)と続いている。(表17)

表19 地域別県外移動者数及び構成比
(24年10月1日～25年9月30日)

	県外移動者数(人)		転入者数(人)		転出者数(人)	
		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)
福岡県	223,466	100.0	117,138	100.0	106,328	100.0
市部	203,227	90.9	106,888	91.2	96,339	90.6
郡部	20,239	9.1	10,250	8.8	9,989	9.4
福岡地域	142,453	63.7	76,759	65.5	65,694	61.8
筑後地域	29,439	13.2	14,994	12.8	14,445	13.6
筑豊地域	8,343	3.7	4,176	3.6	4,167	3.9
北九州地域	43,231	19.3	21,209	18.1	22,022	20.7

(4) 住所地別にみた県外転入・県外転出

転入者は国外、転出者は東京都が最多

住所地別に県外からの転入者の内訳をみると、国外からの転入で13,269人、次いで東京都の10,432人、熊本県の9,320人の順となっており、県外への転出先の内訳では、東京都の13,406人、熊本県の8,022人、国外の7,023人の順となっている。(表20、表21)

表20 従前住所地別県外転入者順位
(24年10月1日～25年9月30日)

順位	従前住所地	転入者数 (人)	構成比 (%)
-	県外計	117,138	100.0
1	国外	13,269	11.3
2	東京都	10,432	8.9
3	熊本県	9,320	8.0
4	長崎県	9,198	7.9
5	佐賀県	7,515	6.4
6	大分県	7,397	6.3
7	鹿児島県	6,211	5.3
8	神奈川県	5,513	4.7
9	大阪府	5,490	4.7
10	山口県	5,153	4.4

表21 移動後住所地別県外転出者順位
(24年10月1日～25年9月30日)

順位	転出先住所地	転出者数 (人)	構成比 (%)
-	県外計	106,328	100.0
1	東京都	13,406	12.6
2	熊本県	8,022	7.5
3	国外	7,023	6.6
4	佐賀県	6,693	6.3
5	大阪府	6,593	6.2
6	長崎県	6,454	6.1
7	神奈川県	6,191	5.8
8	大分県	6,044	5.7
9	鹿児島県	4,935	4.6
10	愛知県	4,228	4.0

筑後地域、北九州地域で顕著な隣接県との移動

住所地別転出入を地域別にみると、県外からの転入者は、福岡地域では国外の8,981人、筑後地域では国外の2,399人、筑豊地域では国外の586人、北九州地域では山口県の2,176人が最も多くなっている。(表22)

県外への転出者は、福岡地域では東京都の9,238人、筑後地域では佐賀県の2,108人、筑豊地域では東京都の512人、北九州地域では東京都の2,307人が最も多くなっている。(表23)

4地域とも九州各県や東京都、国外からの移動が多いが、特に筑後地域の佐賀県や熊本県、北九州地域の山口県や大分県など、その地域と隣接する県との間の移動が多くなっている。

表22 地域別転入者の従前の住所地順位(24年10月1日～25年9月30日)

順位	福岡地域		筑後地域		筑豊地域		北九州地域	
	従前の住所地	(人)	従前の住所地	(人)	従前の住所地	(人)	従前の住所地	(人)
1	国外	8,981	国外	2,399	国外	586	山口県	2,176
2	東京都	7,671	熊本県	2,053	長崎県	302	大分県	2,041
3	長崎県	6,911	佐賀県	1,954	東京都	297	東京都	1,555
4	熊本県	5,892	東京都	909	大分県	273	国外	1,303
5	佐賀県	4,665	長崎県	906	熊本県	251	神奈川県	1,181
6	鹿児島県	4,642	大分県	771	大阪府	226	熊本県	1,124
7	大分県	4,312	神奈川県	690	鹿児島県	194	長崎県	1,079
8	大阪府	3,851	鹿児島県	564	愛知県	189	大阪府	953
9	神奈川県	3,480	大阪府	460	佐賀県	189	鹿児島県	811
10	宮崎県	3,013	宮崎県	417	神奈川県	162	広島県	791

表23 地域別転出者の移動後住所地順位(24年10月1日～25年9月30日)

順位	福岡地域		筑後地域		筑豊地域		北九州地域	
	移動後住所地	(人)	移動後住所地	(人)	移動後住所地	(人)	移動後住所地	(人)
1	東京都	9,238	佐賀県	2,108	東京都	512	東京都	2,307
2	熊本県	4,825	熊本県	1,818	国 外	352	大分県	1,843
3	大阪府	4,598	東京都	1,349	大阪府	277	山口県	1,662
4	長崎県	4,495	国 外	1,068	熊本県	259	国 外	1,624
5	神奈川県	4,066	長崎県	818	長崎県	254	神奈川県	1,293
6	国 外	3,979	大分県	645	大分県	249	熊本県	1,120
7	佐賀県	3,788	神奈川県	615	神奈川県	217	大阪府	1,114
8	鹿児島県	3,483	大阪府	604	愛知県	200	愛知県	1,017
9	大分県	3,307	鹿児島県	517	佐賀県	194	長崎県	887
10	愛知県	2,520	愛知県	491	山口県	184	千葉	831